

一期一会



互助会会報

3号

(株)帯広冠婚葬祭互助会
帯広市大通南8丁目2番地
TEL 0155-22-1313

題字:長沼透石 揮毫

新斎場オープンによせて

株式会社 帯広冠婚葬祭互助会
代表取締役 渡辺 一郎

此の度、当互助会の会報「一期一会」第3号を
発刊し、会員皆様に親しくご挨拶申し上げますこと
をたいへん光栄に存じております。顧みますと昭和
41年、帯広冠婚葬祭互助会を設立、以来、46年
という歳月を歩み続けることが出来ました。葬儀施
行部門の帯広公益社は、1908年（明治41年）創
業以来、明年、105年目を迎えさせていただきます。こ
れもひとえに、帯広・十勝の皆様のご温かいご支援、
ご愛顧の賜物と心より感謝と御礼を申し上げます。

おかげさまで弊社は、帯広市内に3施設目の
総合葬儀式場「公益社メモリアルホール」並びに、
家族葬専用式場「公益社メモリアル別邸」を帯広
西地区（西帯広コミュニティセンター様北向い）に
併設し、平成25年3月にオープン予定でございます。

帯広公益社グループのノウハウを結集し、ご遺
族の皆様が大切な故人様を心おきなく、お送りい
ただける「ご喪家に優しい、癒しの空間」をコンセ
プトに、帯広・十勝の皆様にご利用頂きますよう、
鋭意、努力邁進の覚悟でございます。

また、新斎場オープンを期に帯広中央斎場を「公
益社帯広中央斎場」・帯広市民斎場を「公益社帯
広市民斎場」にそれぞれ名称変更いたします。

何卒、今後とも帯広公益社グループへの絶大な
ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、
ご挨拶とさせていただきます。

公益社グループのご紹介

★万が一、ご不幸に見舞われた場合、24時間体制で真心のご奉仕を!

(株)帯広公益社【総合相談】 帯広市大通南8丁目2 ☎0120-24-1087 <http://www.kouekisha.jp>

総合葬儀式場 ■ 公益社帯広市民斎場 / 帯広市西10条南4丁目11
☎0155-35-4134
■ 公益社帯広中央斎場 / 帯広市西12条南29丁目1
☎0155-49-3100
■ 公益社メモリアルホール
公益社メモリアル別邸 帯広市西23条南1丁目132
平成25年3月オープン予定

■ 芽室支店 / 芽室町東4条5丁目1
☎0155-62-2202
■ 幕別支店 / 幕別町本町110番地
☎0155-54-2425
■ 池田支店 / 池田町大通5丁目13
☎0155-572-2343

★すべてにおいて有利でお得な互助会のお問い合わせ!

(株)帯広冠婚葬祭互助会 080-0010 帯広市大通南8丁目2
☎0155-22-1313 FAX 0155-24-7167

★婚礼・衣装などのご相談は、いつでも貴方のご希望に添います!

おびひろ花嫁センター 080-0010 帯広市大通南8丁目2
☎0155-24-2233

新 斎 場 紹 介

(概 要)

コンセプト

ご遺族の皆様が大切な故人様を心おきなく、お送りいただける

「ご喪家に優しい、癒しの空間」

名 称

公益社メモリアルホール

公益社メモリアル別邸 (家族葬専用式場)

駐車スペース

180台 (正面玄関前、ロードヒーティング)

特 徴

公益社メモリアルホール

【収容人数/154名】



洋風祭壇 (背景はガラス張りで十勝の美しい四季を感じていただけます)

1日一組の貸切りホール・男性大浴場+サウナ・女性大浴場+サウナ・シャワー室・ベッドルーム・メイクルーム・喪主室・遺族控室 (リビング・和室)・フリードリンク (ソフトドリンク・コーヒー等無料)・会食室 (ピュッフェ形式で温かい料理をご提供)・厨房・マッサージチェア・僧侶控室・授乳室・喫煙室・応接室・更衣室・事務室・安置室

公益社メモリアル別邸 (家族葬専用式場)

【収容人数/50名】



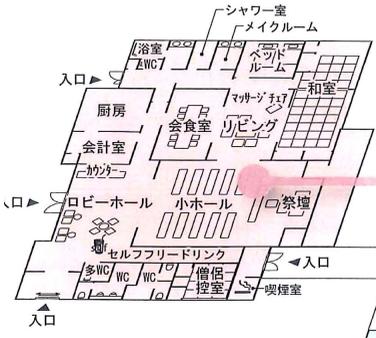
洋風祭壇 (キャンドルを献灯し、優しい光で故人様をお偲びいただけます)

1日一組の貸切りホール・フリードリンク (ソフトドリンク・コーヒー等無料)・浴室・シャワー室・ベッドルーム・メイクルーム・遺族控室 (リビング・和室)・会食室 (ピュッフェ形式で温かい料理をご提供)・厨房・マッサージチェア・僧侶控室・喫煙室

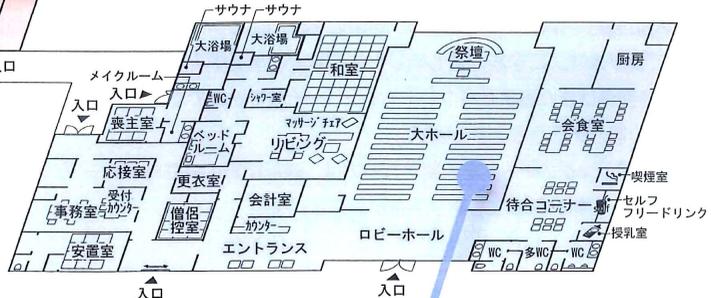
見取図



公益社メモリアル別邸 式場



公益社メモリアル別邸



公益社メモリアルホール



公益社メモリアルホール 式場



公益社メモリアルホール 会食室

案内図



公益社メモリアルホール 待合コーナー

愛する家族のための エンディングノート ～ Ending Note ～



エンディングノート
Ending Note

これからの人生を輝かしく生きていく、その想いをこめて…

ご自身を振り返り、終末期やご葬儀での希望など、その想いを家族に書きしるし、存命中や死後の家族への負担を軽減する「エンディングノート」が多くの方々に支持されるようになって参りました。

この「エンディングノート」は24ページで構成されており、最初は気軽に、あまり難しく考えずに鉛筆書きで徐々に慣れて頂き、後日見直し、自由に書き加える事が出来ます。ご自身の過去・現在・未来が鮮明・明確になって参ります。ご家族が最も知りたいご本人の事を中心に、記入するところから始めて下さい。

「財産関係はまだ書きたくない」など・・・それで結構です。ご家族とお話する機会が余りなく、お伝えしておきたい事があろうかと存じます。

「エンディングノート」を希望される方は、表紙記載の公益社グループへお越し下されば、無料にて進呈いたしますので、お気軽にお立ち寄り下さい。

厄を祓い成長を願う七五三

男の子 三歳・五歳 女の子 三歳・七歳

『七五三の祝い』として神社へ11月15日に行くようになったのは江戸時代からです。三歳・五歳・七歳は、子供の厄年ともいわれているので、神社やお寺へお参りをして厄をはらい、成長を心から祈り、願う節目の行事となっています。

現在では11月15日に限らず、帯広・十勝においては10月初旬から11月下旬の都合の良い日にお参りに行く事が、多く見受けられるようになって来ました。

なるべく早く日程を決めておき、神社や衣裳・写真館などの予約を、あらかじめ申し込んでおくことよいでしょう。また親子の記念写真を撮ることも増えてきました。



快眠で若々しく「快眠のコツ」



- 寝室は暗くする
睡眠を促してくれるメラトニンという物質は、周囲が暗いと分泌が盛んになるそうです。明かりがないと不安な方は、少し照明を落としたり、寝室は暗くしましょう。
- 寝る前に、携帯電話やパソコンをやらない
眠る直前までパソコンなどをしていると、脳が活性化したままになります。寝る前はリラックスして過ごしましょう。
- 昼間は体を動かす
体を動かして体温が上がると、体温が下がってきた時に、自然と眠りやすくなります。

編集余録

第3号は、『癒しの空間』として新斎場の御紹介にこれまで以上の紙面を使わせていただきました。「いままでも」そして「これからも」地元の皆様と共に歩み続けます。安心・信頼・満足、そして『ありがとう』とおっしゃって戴けるよう、全社一丸となって誠心誠意、心のこもったお手伝いに徹してまいります。宜しく願い申し上げます。